

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第4号）について（送付）

このことについて、水稻飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来状況をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ウンカ類、コブノメイガの飛来が6月7日～10日、7月1日～3日にみられ、7月第1半旬までのトビイロウンカの飛来量は平年より多く、今後の発生には注意が必要です。今後も梅雨明けまでは飛来する可能性がありますので、病虫害防除所の飛来情報を確認しましょう。

【飛来および発生状況】

1 飛来状況

- (1) 合志市に設置したネットトラップおよび予察灯で、6月7日～10日、7月1日～3日にウンカ類が誘殺された。コブノメイガについても合志市に設置したフェロモントラップで6月8日～10日、7月2日を中心として断続的に誘殺された（表1）。
- (2) 6月第1半旬から7月第1半旬における予察灯の累積誘殺数はトビイロウンカが29頭（平年7.1頭、前年5頭）で平年比多、セジロウンカは93頭（平年119.8頭、前年13頭）で平年並、コブノメイガのフェロモントラップの累積誘殺数は36頭（前年4頭）で前年比多であった。

2 発生状況

- (1) 6月中旬の巡回調査において、早植え水稻（5月移植、地点数10）でトビイロウンカ成虫を2地点、セジロウンカ成虫を3地点で確認した。また、合志市に設置した無防除水田（5月16日移植）で6月25日に6月7日～10日飛来個体の次世代と考えられるトビイロウンカ幼虫、セジロウンカ幼虫を確認した。
- (2) 7月1日～4日、県北1地点、県央2地点の普通期水稻（6月移植）および合志市の無防除水田で7月1日～3日飛来個体と考えられるトビイロウンカ成虫、セジロウンカ成虫を確認した。
- (3) コブノメイガは、6月下旬、合志市に設置した無防除水田（5月16日移植）で葉の被害および幼虫を確認した。

【防除について】

①トビイロウンカの防除適期をウンカ類の飛来状況から、6月7日及び7月1日を起点に算出した(表3、図1、図2)。6月上旬までに移植した水稲では6月7日、7月1日のいずれか、または両方を起点とした時期、6月中旬以降に移植した水稲では7月1日を起点とした時期が防除適期と考えられる。

②トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、要防除水準(表2)を超える場合は防除を行う。

③コブノメイガの飛来状況から、発蛾最盛期を6月8日及び7月2日を起点に算出した(表4)。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期の1週間後)である。水田における発生状況を確認し、要防除水準(第1世代幼虫による被害株率が20%以上)を超える場合は防除を行う。

④今後も梅雨明けまではウンカ類、コブノメイガが飛来する可能性がある。今後の飛来状況や最新の防除適期について、防除所のホームページで確認し、適期防除に努める。

※今後の飛来状況、防除適期や対策については防除所のホームページ(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)に掲載します。

表1 ネットトラップ・予察灯、フェロモントラップにおける水稲海外飛来性害虫の誘殺状況
 が防除適期計算の飛来日

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		フェロモントラップ
	合志市		合志市		合志市
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6/1	0	0			
6/2	0	0	0	0	0
6/3	0	0			
6/4	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0
6/6	0	0	0	0	0
6/7	0	0	3	0	0
6/8	0	0			
6/9	0	0	2	0	6
6/10	0	0			
6/11	0	0	0	0	1
6/12	0	0	0	0	4
6/13	0	0	0	0	4
6/14	0	1	0	0	7
6/15	0	0			
6/16	0	0	0	0	4
6/17	0	0			
6/18	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	2
6/20	0	0	0	0	1
6/21	0	0	0	0	0
6/22	0	0			
6/23	0	0	0	0	2
6/24	0	0			
6/25	0	0	0	0	0
6/26	0	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0
6/29	1	0			
6/30	0	1	0	0	0
7/1	64	22	1	0	0
7/2	12	3	0	0	4
7/3	11	2	0	0	0
7/4	1	0	0	0	0
7/5	4	0	0	0	1
計	93	29	6	0	36
平年	119.8	7.1	112.2	0.8	-

表2 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期^{注)}
(6月7日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月29日～8月4日
三角	7月31日～8月6日
岱明	7月30日～8月5日
鹿北	8月5～11日
菊池	8月2～8日
阿蘇乙姫	8月13～19日
甲佐	8月2～8日
八代	7月31日～8月6日
水俣	8月2～8日
人吉	8月3～9日
本渡	8月3～9日

注) ・6月7日、7月1日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月4日までは今年の実データ、7月5日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。
・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

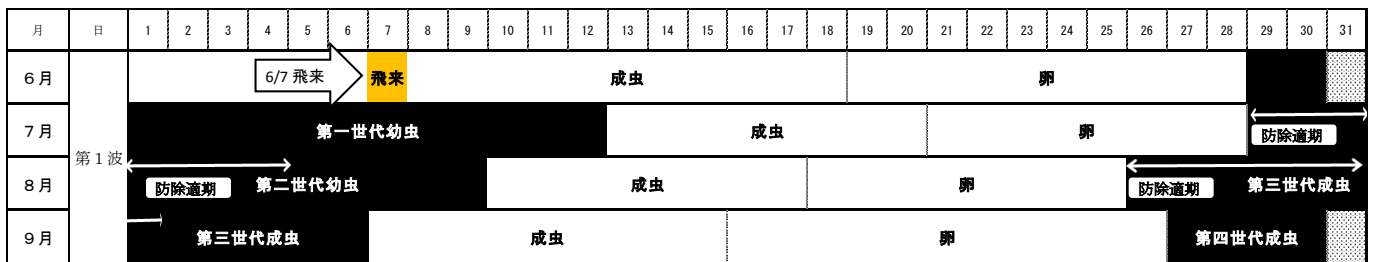


図1 6月7日に飛来したトビイロウンカの発生予想ステージ(熊本市のアメダスデータによる予想)

(7月1日飛来)

地点	防除適期 ^{注)}	
	(第一世代幼虫)	(第二世代幼虫)
熊本	7月20～26日	8月17～23日
三角	7月20～26日	8月17～23日
岱明	7月20～26日	8月17～23日
鹿北	7月22～28日	8月22～28日
菊池	7月20～26日	8月18～24日
阿蘇乙姫	7月24～30日	8月29日～8月4日
甲佐	7月20～26日	8月18～24日
八代	7月20～26日	8月17～23日
水俣	7月20～26日	8月18～24日
人吉	7月20～26日	8月20～26日
本渡	7月21～27日	8月19～25日

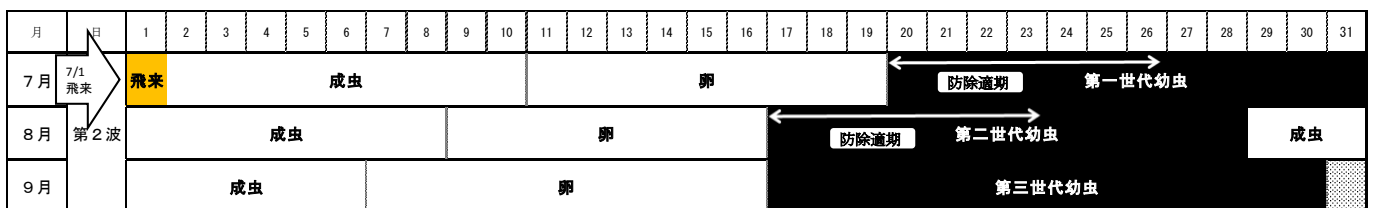


図2 7月1日に飛来したトビイロウンカの発生予想ステージ(熊本市のアメダスデータによる予想)

表4 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期^{注)}
(6月8日飛来)

地点	第一世代発蛾最盛期 (第一世代成虫期)
熊本	7月17～20日
三角	7月18～21日
岱明	7月17～20日
鹿北	7月22～25日
菊池	7月19～22日
阿蘇乙姫	7月28日～8月1日
甲佐	7月20～23日
八代	7月18～21日
水俣	7月19～22日
人吉	7月21～24日
本渡	7月20～23日

注) ・6月8日、7月2日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月4日までは今年の実データ、7月5日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。
・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

(7月2日飛来)

地点	第一世代発蛾最盛期 (第一世代成虫期)
熊本	8月3～6日
三角	8月4～7日
岱明	8月4～7日
鹿北	8月6～9日
菊池	8月4～7日
阿蘇乙姫	8月12～16日
甲佐	8月4～7日
八代	8月4～7日
水俣	8月4～7日
人吉	8月5～8日
本渡	8月4～7日

本田防除剤の散布適期は、粒剤が発蛾最盛期、粉剤・液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期1週間後)である。

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当: 坂本・作本 TEL 096-248-6490